

5

みんなが「分かる」、「できる」授業づくり取組事例 言葉で表現することが難しい児童生徒への指導の工夫

取組事例⑦

自分の気持ちを言葉で表現することが難しい

場面・教科

各教科

困難の背景として考えられること

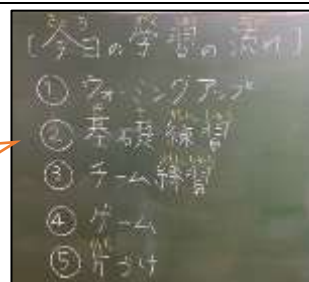
- ・指示が理解できず、言葉が出てこない。
- ・自分の感情を言葉で相手に伝える経験が乏しい。

授業における指導方法 の工夫のポイント

- ⑥ 焦点化
- ⑧ スモールステップ化
- ⑩ 感覚の活用
- ⑪ 共有化

○ 指示や説明は分かりやすく、簡潔にする

複数の指示でパニックにならぬよう、端的で分かりやすい指示や説明の工夫（焦点化）



○ 必要に応じて具体例やヒントを提示する

自分に近い意見を発見することができるよう、複数の具体例やヒントを示す工夫（スモールステップ化）

○ ペア学習、グループ学習で伝え合う

仲間の意見を聞いて学んだり、思いを書いて伝えたり、まとめたことを発表したりするなど様々な感覚や言葉を使って伝え合う機会をつくる工夫

共感的に聞き合う活動を通して、自分の意見に自信をもたせる工夫

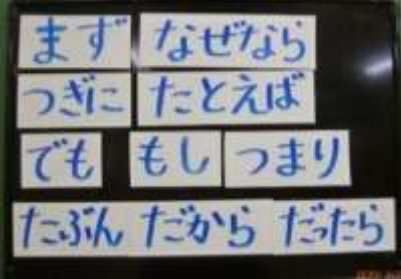
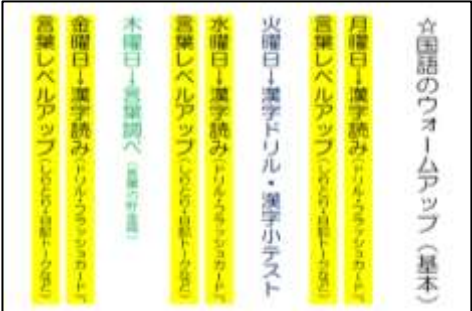
（共有化）（感覚の活用）



期待される効果

- ・様々な場面で対話をする機会を設定することにより、仲間の意見から多くのことを学ぶだけでなく、自分の気持ちに自信をもって伝えることができる。

相手意識をもって「話す」、「聞く」ことが難しい

場面・教科	各教科、学校生活全般
困難の背景として考えられること	
・コミュニケーションへの意欲が低く、語彙が乏しい。 ・多動性・衝動性が強く、集中力を持続する力が弱い。	
授業における指導方法の工夫のポイント	① 場の構造化 ③ ルールの明確化 ⑤ 時間の構造化 ⑧ スモールステップ化 ⑨ 視覚化 ⑪ 共有化
○ 分かりやすく話す・聞くための順序を表す言葉やつなぎ言葉の提示 話す内容を整理して、分かりやすく話したり、聞いたりするための掲示物の工夫（スモールステップ化、視覚化） ○ 多様な活動を組み合わせる   集中力を持続し、語彙力や話す・聞くことへ興味・関心をもてるような学習活動の工夫（時間の構造化、共有化、スモールステップ化） 漢字ドリル読み 日記トーク	
○ 見通しや安心感をもって学習活動に参加できる活動内容の提示 児童が見通しをもって取り組むための活動内容の工夫（場の構造化、ルールの明確化、時間の構造化）	  
期待される効果	
・つなぎ言葉や順序を表す言葉を示すことで、話の内容によって繋ぎ合わせたり、話す順番をスモールステップで整理したりしながら会話ができる。 ・曜日ごとに取り組む内容を設定することで、見通しをもつことができ、集中して学習活動に参加することができる。	

やりとりの方法が分からない

場面・教科	係活動（特別支援学級在籍生徒）
困難の背景として考えられること ・どのタイミングで、どのような言葉を使って話をすれば良いのか分からない。 ・どのような内容を聞き取り、どのように発表すれば良いのか分からない。	
授業における指導方法の工夫のポイント	⑥ 焦点化 ⑨ 視覚化
○ 扱いやすい教具の活用（教科連絡カード） ①授業終わりに教科担任へ、次時の連絡事項を聞き取る。 ②聞いた内容をカードに鉛筆で書き入れる。 ③支援担当教員が、内容をまとめて付箋に記入する。 ④付箋を見ながら、帰りの会で次時の連絡事項を学級で発表する。 ※連絡カード～A6版の硬質クリアファイルを使用。 ～使用する言葉、順序が書かれた紙をファイルに挟む。 ～表面に鉛筆で記入できる用紙を貼る。 ～クリップにリングを通したものを付け、机の横のフックに掛けられるようにした。	
	
期待される効果 ・明らかに支援されているという感じを見せずにスマートに係活動を遂行できる。 ・確実に係活動を遂行し、教師から賞賛されることにより、別の活動への意欲や自信に繋がる。	